

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 百貨店（売場主任）	- ・12月25日にライバル店である大手百貨店が閉店し、当地の百貨店は、当百貨店だけになった。その点で客の百貨店に対するニーズは、当百貨店に集中すると考えている。
	変わらない	商店街（代表者）	・中心街にあった大手百貨店が閉店し、今後その影響がポディブローのように出てくると感じている。例年12月の来街者数は、平日でも賑わいがあるが、今年は土日の来街者数を見ても少なく、この傾向は今後もまだしばらくは続くと思う。
		スーパー（企画担当）	・商品の値打ちに納得すると購入するが、衝動買いは少なくなっており、慎重な購買姿勢は変わっていない。
		スーパー（営業担当）	・売上は、対前年比で増加しているが、これは営業時間が3時間延びたことによるものであり、今後営業時間が延びた状況が続くとすれば次の3か月以降、更に売上が増加するとは考えにくい。
		コンビニ（店長）	・月々で多少の増減はあるが、今年1年間の売上は、前年並みで推移して来た。今後も、しばらくはいい状態にならず、この流れが続くと感じている。
		家電量販店（店長）	・客が下見に非常に時間をかけている。単価も下落しており、先行きは非常に不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・3か月先は、一般企業の決算期であり、決算需要の増加分で、景気の落ち込み分を埋める程度。景気が上昇する要素がない。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月、12月は新商品の発売により、当初、売上は増加すると見込んでいたが、前年を下回る実績であった。そのため、今後、良くなる見込みは少ないと感じている。
		タクシー運転手	・例年12月は、平日でも客が出ていたが、今年は週末しか客がいない。この客の動向からみて、3か月先も変化がないと感じる。
	設計事務所（所長） 住宅販売会社（従業員）	・分譲宅地の販売が不振である。 ・中長期の受注量が増加していないため、3か月先の状況も変化はないと思う。	
	やや悪くなる	一般小売店〔菓子〕 （販売担当）	・来客数は対前年比で大きく減少しており、回復の兆しが見えてこない。
		百貨店（営業担当）	・歳暮商戦は2%程度の減少に留まり、当初予想を上回った。しかしクリスマス商戦は単価の低下が見られ、12月の売上単価の低下要因となった。大口売上は対前年比を維持したが、時計、宝飾、ブランド品の購入単価が低下している。客の動向も歳暮の買い物が終わると、他の売り場に立ち寄りずに帰るなど、目的買いの状態が続いている。
		スーパー（店長）	・単価は前年を上回っているため、下げ止まりの感が見られるが、売上、来客数は前年を1～2ポイント下回っている。また、客の動向にポイント制の与える影響が高くなっている。
		都市型ホテル（経営者）	・単価の下落が予想以上であり、2、3か月で回復するのは困難で、更に悪くなることが予想される。
タクシー運転手		・12月は忘年会シーズンで、中旬から人は出ていたが、例年に比べて人の出が少ない。2、3か月先もプラス材料がなく、一段と厳しさが増すと感じている。	
悪くなる	その他住宅〔不動産〕 （経営者）	・思い切って安くしないと売れない状況が、しばらく続くと考えられ、景気の先行きはやや悪くなると感じる。	
	一般小売店〔生花〕 （経営者）	・例年1月、2月、3月は年間でも一番売上の少ない時期であるのに加え、この景気を考えると売上は落ち込むと心配している。売れないので在庫が持てず、必要なときには品物がないという悪循環が続いている。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 家具製造業（経営者）	- ・新規の大型受注により売上が増加する。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・デフレの中で、物が売れないために価格は更に低下している。新しい取り組みを行っており、これにより新しい動きも出てきているが、一挙に市況が回復するまでにはならない。

	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・東南アジアからの輸入の増加等で価格が下落し、思うように回復しない。しかし、回復しなければ、売上も増加しないし、利益もでない状況である。
	化学工業（営業担当）	・需要の減少傾向が続いている。また、価格の下落に歯止めがかからず、明るい兆しが見えてこない。
	建設業（経営者）	・来年の受注量の見通しが立てられない。
	通信業（支店長）	・12月は年末商戦により1年で最も商品が売れる時期であるが、客の購買意欲はあまりない。景気は既に底を打っているという感じがあり、今後もこの状況が続く。
	金融業（融資担当）	・県下の主要産業ある建設、土木の受注量が引き続き、厳しい状況にある。
やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・現在、クレーンの稼働率は、例年並みであるが、金融機関の動向を注視しているユーザーもあり、設備投資は減退していくものと思われる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・3月の年度末の先が見えない。例年、この時期は見積り等の依頼があるが、新しい仕事の依頼がない状況が続いている。大規模物件の見積り依頼もなく、今後もやや悪化すると感じている。
	輸送業（支店長）	・荷主企業の販売不振と経費削減がもう一段進み、受注量が少なくなる見込みである。
	不動産業（経営者）	・アパートやマンションの賃貸契約が非常に悪化しており、更に家賃を下げてても客が入らない状況が続いている。
	公認会計士	・製造、建設、サービス、小売業とも減収・減益が続いており、資金繰りも思うように調達できない状況である。先行きも金融機関の不良債権処理の加速に非常に不安感を抱えており、現在より景気が後退すると感じている。
	悪くなる	-
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	職業安定所（職員）
		・製造業において回復の見通しが見られず、求職者の増加傾向が収まらない。
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・人材派遣の依頼数が減ってきている。
	職業安定所（職員）	・パートを含む有効求人倍率は0.56倍と対前月比で0.03ポイント改善した。これは、新規求職者と有効求職者の若干の減少が要因である。しかし、求人数の減少に歯止めがかからない状況であり、雇用環境の一層の悪化が懸念される。
	学校〔大学〕（就職担当）	・内定の動向が極めて低調である上に、賃金の抑制、離職率の増大等、不安材料が極めて多く、需要は低下している。
悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・長期派遣の依頼があった案件も、まずは、1か月、あるいは3か月の短期派遣の依頼に変更している。また、以前の契約更改は6か月更新であったのが3か月更新、あるいは1か月更新に変わってきており、企業側が経済環境に柔軟な対応をしようとの表れである。また、値下げ要求が依然多く、特にOAを含む事務関係では価格の低下傾向が見られる。